



## [OUTBREAK:005194] ProMED 概要2009 豚インフルエンザなど 0423-0010から0426-0010まで

1 件のメッセージ

TAKEKAWA <takekawa-kkr@umin.ac.jp>

2009/04/27 13:41

返信先: outbreak@umin.ac.jp

To: OUTBREAK-ML <outbreak@umin.ac.jp>

●04-21(0423-0010)#C#インフルエンザA(H1N1)ウイルス、ブタ、ヒトー米国(カリフォルニアCA)

Swine influenza A (H1N1) infection in 2 children - southern California, March/April 2009

情報源: CDC. MMWR Morb Mortal Wkly Rep 2009; 58 (dispatch): 1-3 [edited]

[http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm58d0421a1.htm?s\\_cid=mm58d0421a1\\_e](http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm58d0421a1.htm?s_cid=mm58d0421a1_e)

2009年4月17日、CDCは、カリフォルニアCalifornia 州南部の隣り合う郡に住む小児に起きた、発熱を伴う呼吸器疾患の2例が、豚インフルエンザ(H1N1)ウイルス感染によるものであることを確認した。2人の患者から採取されたウイルスは遺伝学的に密接な関連性があり、アマンタジンおよびリマンタジン(amantadine and rimantadine)耐性であり、米国内および他の地域でこれまでに報告されたブタおよびヒトのインフルエンザウイルスにはない、特有の遺伝子分節の組み合わせを持っていた。いずれの小児にもブタとの接触歴はなく、感染源は分かっていない。感染源を特定し、他に同様の豚インフルエンザウイルス感染者がないかを判断するための調査が行われている。本報告では、この2症例と現在行われている調査について記述されている。本症例は、これまでヒトに発生したインフルエンザAウイルスとしては、新たな亜型ウイルスによる感染ではないものの、この新しいブタのインフルエンザA(H1N1)ウイルスが、ヒトのインフルエンザA(H1N1)ウイルスとはsubstantially (大きく)異なり、人口のほとんどが感受性を持ち、H1N1の季節性インフルエンザワクチン接種では保護されないことが懸念される。この2症例にブタとの接触歴がなかったことから、この新たなウイルスのヒト-ヒト感染が生じた可能性が強まった。医師は、発熱性呼吸器疾患の患者で、1)San Diego and Imperial counties在住、または、2)これらの地域を訪れたり、これらの地域の住民である患者と発病の7日前に接触があった、または、3)最近ブタとの接触のあった患者については、ヒトインフルエンザだけでなく、豚インフルエンザも鑑別診断として考慮する必要がある。患者に豚インフルエンザウイルス感染を疑われた場合は、気道から検体を採取し、州または地域の保健当局と連絡を取り、州公衆衛生研究所で検査を実施する必要がある。...以下、症例報告、疫学・検査学調査、原文参照願います。

●04-22(0424-0040)#C#鳥インフルエンザ、ヒト(80)ーエジプト、25人目の死者

情報源: Reuters (UK) News、2009年4月24日。

<http://uk.reuters.com/article/americasCrisis/idUKLM402988>

25歳のエジプト人女性1人がH5N1鳥インフルエンザウイルスにより死亡し、エジプトで25人目の犠牲者となったと、22日報じられた。カイロCairo出身のこの女性は呼吸不全により死亡した[20090418.1472]。21日には、6歳の少年が死亡したことが伝えられている。この少年は、Qalyubia[governorate]出身で、2009年のエジプトではじめての死者であった[20090422.1517]。4歳のSohag [governorate]出身の小児が入院中で、抗ウイルス薬Tamifluによる治療が行われている。この感染発生により、アラブで人口最多のこの国の患者数は67例となった[20090422.1517]。エジプトではこの数ヶ月間鳥インフルエンザ患者が増加しており、2009年に入ってから確認された患者は、16例である。2008年1月1日から4月17日までに確認されたのは7例であった。...

●04-23(0424-0080)#C#鳥インフルエンザ、ヒト(81)ーエジプト、WHO

情報源: World Health Organization (WHO), EPR, Disease Outbreak News、2009年4月23日。 [http://www.who.int/csr/don/2009\\_04\\_23a/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2009_04_23a/en/index.html)

エジプト保健省は、新たなヒトでの鳥インフルエンザ感染患者1名が確認されたことを報告した。この患者は、Akhmim District(Sohag

governorate)の4歳の男児1名である。2009年4月18日に発症し、18日にSohag Fever Hospital に入院し、oseltamivirによる治療が開始されている。状態は安定している。鳥インフルエンザH5N1ウイルス感染の確認は、21日にthe Egyptian Central Public Health Laboratoryにおいて行われ、次いでthe US Naval Medical Research Unit No. 3(NAMRU-3)で確定された。感染源の調査で、発病前に病死した家禽との濃厚な接触があったことが確認されている。エジプトではこれまでに67人の患者が確認され、23人が死亡した。

●04-24(0425-0040)#C#鳥インフルエンザ、ヒト(82)ーエジプト(AL GHARBIYAH GH)、68人目の患者

Another woman infected by H5N1

情報源: Egyptian Chronicles、2009年4月24日。

<http://egyptianchronicles.blogspot.com/2009/04/another-woman-got-infected-by-h5n1.html>

エジプト保健省は、Tanta[city, Al Gharbiyah governorate] in the Nile Delta の34歳の女性1名が、エジプトで68例目のH5N1鳥インフルエンザ患者となったと発表した。この女性は、2009年4月21日に発症し、同日入院となった。感染した家禽との接触歴がある。Tamiflu (oseltamivir)による治療を受けており、状態は安定していることが明らかにされている。

地図 the governorates of Egypt: The governorate of Al Gharbiyah

[http://en.wikipedia.org/wiki/Governorates\\_of\\_Egypt](http://en.wikipedia.org/wiki/Governorates_of_Egypt)

●04-24(0425-0090)#C#インフルエンザA(H1N1)、ブタ、ヒトー北米

[1] USA - MMWR

Update: swine influenza A (H1N1) infections --- California and Texas, April 2009

情報源: MMWR Morb Mortal Wkly Rep Dispatch 24 Apr 2009/58 (dispatch);1-3、2009年4月24日。 <http://cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm58d0424a1.htm>

21日CDCは、カリフォルニア州南部で最近発生した2例の小児の発熱性呼吸器疾患が、遺伝学的に豚インフルエンザA(H1N1)ウイルスに類似するウイルスの感染によるものであったことを報告していた。...0423-0010の再掲+メキシコでのアウトブレイク:

メキシコ政府公衆衛生当局は、数週間にわたって重症肺炎および死亡例を含む呼吸器疾患症例が増加していることを報告している。集団発生の多くが、メキシコ中部からの報告であるが、アウトブレイクや重症呼吸器疾患患者は、米国との国境地域からも報告され地エル。メキシコの呼吸器疾患患者から採取された検体のCDCにおける検査では、米国の症例と同じswine influenza A (H1N1)ウイルス株が確認されている。しかし、メキシコでの発生数増加と少数の検体で検出された豚インフルエンザとの関連性を示す、明らかなデータは今のところない。...続く

[2] USA, Mexico - WHO

Influenza-like illness in the United States and Mexico 24 April 2009

情報源: WHO Epidemic and Pandemic Alert and Response (EPR)、2009年4月24日。

[http://www.who.int/csr/don/2009\\_04\\_24/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2009_04_24/en/index.html)

米国政府当局は、米国内で7例(5 in California and 2 in Texas)の豚インフルエンザA/H1N1感染確定症例と、9例の感染疑い例の発生を確認した。確定診断された7例はいずれも、軽症のinfluenza-like illness (ILI インフルエンザ類似症状)を示し、1例のみ短期間入院を要した。死亡例は発生していない。メキシコ政府当局は、別個の3件のイベントを報告された。4月中、患者数は着実に増加しており、4月23日

現在首都では854人以上の肺炎患者が報告され、このうち59人が死亡した。メキシコ中部San Luis Potosiでは24例のILI患者と死者3人、米国情境付近のMexicaliから4例のILI患者(死者0)が報告されている。メキシコの症例では、18例がCanadaの検査機関においてswine influenza A/H1N1の感染であることが確認された一方、うち12検体が、カリフォルニアCalifornia州のswine influenza A/H1N1 virusesと遺伝学的にidentical(一致)していた。患者の大部分は生来健康な若年成人であった。インフルエンザは元来メキシコでは、幼児や高齢者に影響がある一方、若年成人で重症化することはない。動物のインフルエンザウイルスに感染した患者が発生し、地理的に広い範囲での複数の集団でのアウトブレイクが認められ、さらに通常と異なる年齢層が感染していることなどから、今回の事例は非常に関心がもたれている。このアウトブレイクに特徴的なthe swine influenza A/H1N1 virusesは、これまでにブタやヒトで確認されたことのないウイルスであった。oseltamivirには感受性が認められているが、amantadine and rimantadineのいずれに対しても耐性であった。WHOは、米国、メキシコ、カナダの政府当局と連絡し、このILIのイベントがもたらせるリスクの理解に努めている。WHO (and the Pan American

Health Organization [PAHO]) はメキシコに専門家を派遣し、保健当局に協力し、加盟各国の疫学活動強化、検査診断、治療の支援を行っている。さらにthe Global Alert and Response

Network内のWHOの協力機関に注意を呼びかけており、要請があれば加盟国に対する協力を行う準備がある。米国およびメキシコ政府当局の積極的な報告とWHOに対する協力に感謝するとともに、解明に向け加盟国との協力を引き続き行っていく。

[3] Mexico - Newswire

情報源: Yahoo News / Associated Press、2009年4月24日。

[http://news.yahoo.com/s/ap/20090424/ap\\_on\\_he\\_me/med\\_swine\\_flu](http://news.yahoo.com/s/ap/20090424/ap_on_he_me/med_swine_flu)

特殊な型の豚インフルエンザによりメキシコで数十人が死亡した疑いが持たれており、首都では24日、学校、劇場、図書館、劇場などが閉鎖されている。不安視されているこの新たなウイルスは、ブタ、トリ、ヒトからの遺伝子から成り立っており、研究者らがこれまでに見たことがない一面を有し、米国内でもこれまでに死者の報告はないものの、テキサス州やカリフォルニア州でも8人以上の患者が報告されている。WHOの広報担当者は非常に懸念していると述べ、新たなウイルスがヒトからヒトに感染拡大しているため、現在全力で対策に当たっていると説明した。患者が1000人以上出ているメキシコは警戒態勢にあり、首都の住民らはサージカルマスクを着用し、4半世紀ぶりとなる集会禁止命令が出された。...豚インフルエンザに固有のワクチンはなく、現行のヒトのインフルエンザワクチンがどの程度有効であるは未知数である。米国CDCは、この新たな豚インフルエンザウイルスに遺伝学的に適合する"seed stock"を用意している。もし政府当局がワクチン製造を決めれば、製造開始にあたって、製造者にとってこのstockが必要になる。メキシコ政府当局は、緊急でない場合は、感染発生の中心となっている病院受診を控えるよう呼びかけている。..米国保健当局は、旅行者に対する情報提供を行い、頻回の手洗いを呼びかけているが、メキシコへの渡航制限には至っていない。地理的なアウトブレイクの拡大もWHOの懸念材料となっている。死者20人中13人はMexico Cityで発生しているが、のこりの死者はSan Luis Potosi(4)、米国境Baja California(2)、南部Oaxaca state(1)と全国に分散している。...CDCはTamiflu [oseltamivir] と Relenza [zanamivir]は、この新たなウイルス株にも今のところ有効であるとしている。...メキシコ政府の対応、米国政府当局の対応(全患者は回復しており注意喚起は不要)、ウイルスのユニークな構成など

...

●04-22(0425-0110)#C#ラッサ熱-南アフリカ ナイジェリアから

情報源: Bio-Medicine、2009年4月22日。

<http://www.bio-medicine.org/medicine-news/South-Africa-3A-Nigerian-Man-Treated-for-Lassa-Fever-18548-1/>

ナイジェリアでラッサ熱に感染したナイジェリア人医師1名が、プレトリアPretoriaのthe Unitas Hospitalで治療中であることが、22日Gautengの保健当局から公表された。現在も特殊隔離病棟で治療中である。この患者はナイジェリアのアブジャAbujaからマラリアもしくは敗血症が疑われ治療のため、20日に航空機で到着した。その後の検査でラッサ熱と診断され、直ちに隔離病棟に移された。ラッサ熱は、ナイジェリア、ギニア、リベリア、シエラレオネなどの西アフリカ諸国で地方病感染しているが、南アフリカではほとんど見られることはない。マールブルグ病やマラリアに似た症状のウイルス性出血熱で、発熱、嘔吐、頭痛、咽頭痛、筋肉痛、全身衰弱などの初期症状が認められる。重症例では顔面腫脹、胸水貯留、口や鼻からの出血などをきたす可能性もある。...

●04-24(0426-0010)#C#インフルエンザA(H1N1)ウイルス、ブタ、ヒト-北米(02)

[1] Strain identity

Labs confirm same swine flu in deadly Mexican outbreaks

情報源: CIDRAP News、2009年4月24日。

<http://www.cidrap.umn.edu/cidrap/content/influenza/panflu/news/apr2409swine.html>

メキシコでの死者の出ている呼吸器疾患のアウトブレイクで採取された検体は、米国のより軽症例の患者から分離されたウイルスと一致したことを、米国CDCの当局者が24日明らかにした。WHOが世界のパンデミック警戒レベルを引き上げる可能性があるとの見方が強まった。CDCの責任者であるRichard Besser, MDは、事態への憂慮を表した。様々な情報から、昨日より懸念が強まったと述べた。新たなパンデミックにつながるかどうかは明らかではないが、研究者らは注視し非常に深刻に受け止めていると述べた。San Diegoですでに回復している小児の、新たな1人の米国民のThe swine flu A/H1N1 ウイルス感染が確認され、米国内の感染は8人となった。同ウイルスの遺伝子は4種類の異なる型のインフルエンザから成っている: すなわち、North

American swine, North American avian, human, and Eurasian swineである。WHOは24日、メキシコ政府当局は3件の独立した事例を報告したことを明らかにした。the Federal Districtでは、4月中を通して患者数が増加し、23日現在、メキシコ市から、854例以上の肺炎患者とこのうち59人の死亡例が報告されている。Mexico Cityでの感染流行発生を受け、保健相は市内の学校を閉鎖し、学生や成人らに多くのヒトが集まる場所を避けるよう呼びかけている。当局は、メキシコ中部San Luis Potosi市でも、ILIの24例と3例の死亡、米国国境付近のMexicaliでも4例の患者(死者0)を報告している。メキシコのウイルスは、通常の季節性インフルエンザと異なり、主に生来健康な若年成人に感染しているとWHOでは述べている。米国CDCは、メキシコの重症患者から採取された14検体を解析し、このうち7検体で米国の患者に感染したウイルスと同じ、混合された豚インフルエンザウイルスを確認している。しかし当局はこの解析結果は予備的なものであるとした上で、CDCは結論に至るだけの十分な情報を得ていないと述べた。WHOは24日、カナダ国立研究所がメキシコの患者からの18件の検体でswine flu A/H1N1を確認し、このうち12検体は遺伝学的にカリフォルニアCaliforniaの豚インフルエンザウイルスと同じであることを確認したことを明らかにしている。WHOおよびCDCはいずれも、メキシコに専門家を派遣して協力していると述べ、WHOはGlobal Alert and Response Networkに警戒するよう求めた。WHOは近く専門化委員会を招集し、パンデミックへの警戒レベルthe pandemic alert levelの、現在の3 (human infection with new influenza subtype with only rare human-to-human spread、ヒトでの新たな亜型のインフルエンザ感染、きわめてまれにヒト-ヒト感染あり) から4 (small clusters with localized human-to-human transmission

ヒト-ヒト感染の限定的な集団発生)への引き上げに関する議論を行う。専門家らは次の3つの点に着目すると考えられると述べた: すなわち、このウイルスの novelty (新規性)、疾患の重症度、ウイルス感染伝播の容易性である。国際間の公衆衛生当局者らは、ウイルス感染伝播防止の目的で、メキシコの発生地域への抗ウイルス薬の配布などの封じ込め策を検討しているが、すでに遠い場所にまでヒト-ヒト感染による拡大が生じており、そのような対策は有効ではないとこのCDC当局者は述べた。発生が集中する、限局された地域発生ではないと述べた。CDCの当局者らによると、the swine flu A/H1N1 virus は、oseltamivir (Tamiflu) および zanamivir (Relenza)には感受性があるものの、旧来のamantadine およびrimantadineには感受性がない。Relenzaを製造するGlaxoSmithKlineの広報担当者は取材に答え、同社はこの豚インフルエンザの進展を注意深く見守っていることを明らかにした。Tamiflu製造メーカーのRoche社も、今はまだ出されていないWHOからの要請に応えるべく、"rapid

response stockpile"を24時間体制でスタンバイしている旨、述べた。この豚インフルエンザウイルスの脅威は、個人および企業が自らの準備態勢を再考する機会を与えた。現在のところ、政府当局のカリフォルニア、メキシコ、テキサスへの渡航勧告の変更はない。しかし、メキシコ中部の健康リスクの変化(危険性)に関する勧告が出され、旅行者には、手洗い、体調が悪い場合の自宅待機、咳エチケットなどの標準予防策を呼びかけられている。

## [2] Strain identity

Canadian lab confirms human swine flu cases in Mexico

情報源: CBC News [abbreviated and edited], 2009年4月24日。

<http://www.cbc.ca/health/story/2009/04/24/health-flu-mexico090424.html>

オタワOttawa, Ontarioでの記者会見上、ヒトに感染した豚インフルエンザウイルスであることが確認されたとの結果を得たと述べた。メキシコから最近帰国したカナダ国民で、インフルエンザ類似疾患のある多数の患者について、監視が行われているが、現在のところヒトでの豚インフルエンザが確定されたわけではないと、カナダ公衆衛生主席責任者が述べていた。メキシコ政府当局は検査目的に21日、51検体をCanada's National Microbiology Laboratoryに送付したところ、16例の豚インフルエンザが陽性であることが判明し、24日メキシコ保健相は、アウトブレイクの死者が20例、全国の感染者は1004人であると発表したことから、25日WHOは緊急会議を招集した。政府当局はウイルス感染拡大防止の目的で、学校、美術館、図書館を閉鎖した。米国CDCの責任者は、予備的なメキシコのウイルス検体の解析で、同ウイルスが、先の米国の8例の患者のウイルスに非常に似ていることを明らかにし、このうち1件が24日に確定されたと述べた。米国内の患者はいずれも回復している。カナダ政府当局は、メキシコおよび米国の保健当局者らと協力し、各国のウイルスに関連性があり、ヒトに感染した新たな豚インフルエンザA H1N1ウイルスであることを確認した。ヒトにとっても、世界的にも、興味深いbrand new virusであると、ウィニペグWinnipegの研究者は述べた。同ウイルスの80%は、数年以上にわたって確認されている北米の

### 豚インフルエンザウイルスのbody

[?]と非常に関係のあるウイルスであるが、約20%の部分はタイで初めて見つかったユーラシアタイプの豚インフルエンザ由来であり、このウイルスが再集合により発生した全く新たな種類のウイルスであるとし、どこでいつどのように発生したかはわからないと述べた。CDCは、今回の豚インフルエンザウイルスには4つのウイルスから由来する遺伝子成分が含まれているとしている; North American swine influenza viruses, North American avian influenza viruses, human influenza virus, and swine influenza viruses found in Asia and Europeである -- これまで世界中のどこでも確認されたことがないa new combinationと説明された。米国およびメキシコの広い範囲で、ヒトからヒトへの感染が発生しているが、ブタとの直接の接触についても引き続き調査が行われている。WHOの広報担当者は、今回のアウトブレイクが、国際的な公衆衛生上の脅威を構成するか否かを判断しなければならないと述べた。また、メキシコ国内の死者から採取された18検体中12検体は、今週初めにカリフォルニアCalifornia州で発見されたウイルスと、遺伝学的構造が一致していたことを明らかにした。しかし、現在6段階中3となっているパンデミックレベルの変更までには、さらに多くの情報が必要であるとしている。同ウイルスは今週初めに、テキサスTexas州とカリフォルニアCalifornia州の7人の患者で、これまでに確認されたことがないウイルスの感染が見つかったことから、米国の保健当局により初めて報告された。政府当局は、2人の死亡が報告されている町からあまり離れていない場所で、メキシコと国境を共有している。WHOの広報担当者は、メキシコ保健当局は、感染の多くがメキシコ市で発生している、3つの独立した感染流行に対応しており、若年成人に患者が集中している点を付け加えた。通常の季節性インフルエンザのように、幼児や高齢者に発生していないことから、異常事態であり強い関心を寄せていると、WHO本部でのインタビューに答えた。このような季節(4月後半)に特にメキシコのような場所では、患者が減少すると見込まれる時期で、インフルエンザの活動性が高まることはまれである。23日、カナダ政府保健当局は、メキシコからの最近帰国した旅行者に対して、今回の疾患に関係する可能性もあるとして、インフルエンザ類似症状への注意喚起を行った。

### [3] Pandemic warning

Health officials prepare for swine flu "pandemic"

情報源: MSNBC、2009年4月25日。

<http://www.msnbc.msn.com/id/30398682>

メキシコ全国で68人もの死者と1000人を超える患者が出ている、新たな豚インフルエンザウイルスによる感染流行は、パンデミックとなる可能性がある、25日WHOの責任者が述べ、突然の発生を封じ込めるには遅すぎるとの見解を示した。CDCは全米でのサーベイランス強化を行っているものの、このウイルス感染拡大を封じ込められるとは考えていないと述べた。カリフォルニア、テキサスやメキシコ各地で患者が発生しており、さらに多くの場所での発生を見ることになるだろうと述べた。準備と事前の予測を行い、不測の事態に備える時であると述べた。25日、Mexico Cityだけで新たに二十数人の患者が報告されており、学校は閉鎖され、全ての行事も延期となった。このかつて見たことのないウイルスのアウトブレイクは、かなり深刻な状況であり、"pandemic potential"があるとしながらも、パンデミックになる可能性があると言うのは、時期尚早とも述べた。状況は素早く変化しており、新たな疾患に関してほとんど分かっていないし、ヒト、ブタ、トリのウイルスの混合したウイルスであることについて、WHOは、渡航勧告・貿易制限・国境閉鎖につながることもあるinternational public health emergency宣言の検討に入った。25日に結論に至る可能性は低いと述べた。...死者に、弱者である幼児や高齢者が含まれていないことも懸念材料とされている。1918-19年に世界で4000万人以上が死亡したスペインかぜにおいても、最も被害が大きかったのは健康な若年成人であった。豚インフルエンザと通常の季節性インフルエンザの症状は似ており、米国の患者の一部では嘔吐や下痢が認められている。しかし、動物(のインフルエンザ)の遺伝子を含むインフルエンザに対する自然免疫をヒトは有していない上、新たなワクチンが使用できるようになるまでに数ヶ月以上を要する。すでにメキシコの全32州のうち14州で1000人以上が感染していることから、WHOもCDCも封じ込められる性質のアウトブレイクではないとしている。検査により、20人が豚インフルエンザ感染により死亡したことが確認され、ほか48人の死亡についても同ウイルスが原因であることが疑われている。CDCとカナダの保健当局は、メキシコから送付された検体について解析中であり、世界中の空港では、メキシコから到着する乗客らについて、インフルエンザの症状の有無のスクリーニング検査を行い、場合により隔離することになっている。the San DiegoおよびSan Antonio areasの患者らの間に直接の接触が認められないことから、ウイルスはすでにキャリアによって拡散している可能性が示唆されている。...

### [4] Suspected outbreak in New York

